

飯塚高校甲子園出場！ 感動をありがとう！



7月23日、福岡大会優勝後のキャプテン胸上げ

4年ぶりの甲子園

7月28日、第94回全国高校野球選手権福岡大会の決勝が行われ、飯塚が4-2で福岡第一を破り、4年ぶり2回目の夏の甲子園出場を決めました。

桂川町土師二区に在住の工一こがだいき入古賀大輝投手は、5回途中まで3安打2失点の好投でチームの勝利に大きく貢献しました。

悲願の甲子園初勝利

8月8日、第94回全国高校野球選手権が阪神甲子園球場で開幕。飯塚は、この日の第2試合で、広島工業（広島県）と対戦しました。アルプススタンドには、飯塚高校の生徒やご家族、関係者など、大勢の方が応援に詰めかけました。その中には、古賀投手の父・秀一しゅういちさんと祖母・美津子みつこさんの姿もありました。



一回表、先発の工一入古賀投手が0点に抑えると、飯塚はその裏石田選手の先制タイムリーと白石選手の犠牲フライで2-0とします。しかし、一回表、2点タイムリーを浴び、2-2の同点に追いつかれます。飯塚は二回裏、丸本選手の2点タイムリーで4-2と勝ち越しますが、三回表、2つのエラーで2死三塁となり、内野安打で1点返され、4-3となったところで古賀投手は無念の降板。本来のピッチングができませんでした。その後は、ともに1点ずつ取り合い、8回に飯塚が1点を追加。そのまま広島工業の追撃を阻み6-4で飯塚が接戦を制しました。4年前の初出場は、初戦敗退だっただけに、記念すべき甲子園初勝利となりました。